

# *Kudoa* による食中毒防止のための対応状況

平成24年3月

水産庁

# 全国のヒラメ養殖生産量(平成22年度)

大分県等の5県で全国のヒラメ養殖生産量の約8割を生産

県名	生産量(トン)
大分	1,299
愛媛	696
鹿児島	662
三重	319
長崎	236
小計	3,212
その他(22県)	665
合計	3,977

# 平成23年度に取り組んだ事項

都道府県を通じて養殖場等の感染実態を調査したところ、*Kudoa* の感染が確認された海域は限定的。感染が確認された魚は出荷を自粛。

## 1. 養殖段階における*Kudoa* 保有稚魚の排除

- 全国のヒラメ種苗生産施設、養殖場においてPCR法を用いた検査を実施
- 一部の種苗生産業者では、自主的に稚魚のPCR検査を実施

## 2. ヒラメ飼育環境の清浄化

- 感染魚と非感染魚の同居感染実験、非感染魚への*Kudoa* 孢子経口投与実験では、感染が見られなかった

## 3. 養殖場における出荷前のモニタリング検査

- 現場で実施できる成魚の簡易検査法(検鏡検査法)を開発
- 各県が養殖業者のための研修会・巡回指導等を実施し*Kudoa* 対策を周知
- 民間検査機関が、養殖業者等のためのPCR検査、検鏡検査の受託を開始

# 今後の*Kudoa* 食中毒防止対策

## 【養殖場に*Kudoa* を持ち込まない】(養殖場)

- 種苗導入時における感染の有無の確認
  - ・ 導入するロット毎にPCR法による検査の実施
- 種苗来歴等によるロット毎の飼育管理



## 【養殖魚に*Kudoa* を寄生させない】(農水省)

- *Kudoa* の生活環、寄生メカニズムの解明等、感染防除対策に必要な技術開発を実施

## 【*Kudoa* が寄生したヒラメを流通させない】(養殖場)

- 出荷前のモニタリング検査の実施
  - ・ ロット毎に検鏡検査法等により感染の有無を確認
- 感染が確認された群は、生鮮での出荷を自粛し、冷凍または加熱加工用とする

